

【専門教育科目/看護の統合と発展】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	30	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	60	5	0	0	0	65
	思考・推論・創造する力	5	15	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	0	0	5
	問題を発見・解決する力	5	5	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	試験の内容としては、卒業までに到達すべき知識を身につけているか否かを再確認するため、各領域における知識技術に関することを問う。				必要に応じて結果のフィードバックと解説をおこなう。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①	✓	各領域の講義を受けた上で、自己の課題についてレポートの提出を求める。課題レポートを総合評価点とする。				各自から提出されたレポートの内容を確認し、講義および演習の学びを通し、自己の課題が明確にされているか否かも評価に含む。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	坂本文子 溝口孝美 森川三郎 山田真衣 佐野宏一郎 田中深雪 堀口まり子 渡邊美樹 伊丹幸子 吉岡陸世 山崎さやか						
教 員 の 実 務 経 験	担当する教員は、各領域の特色に応じた看護師・保健師・助産師の臨床経験を有してる。						
実 践 的 授 業 の 内 容	これまでに培った経験を伝え、学生がよりリアリティを感じ理解を深められるように工夫しながら講義を展開する。 各領域が原則2コマずつを担当し、各領域に於いて必要と考えられる知識技術の内容について指導する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。 ・今後、新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性があります。 ・Teamsを使用した同時双方向型授業を行うようになった場合、授業時は通信容量が無制限のwifi環境を推奨します。課題ダウンロードや画像視聴などがありますので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意して下さい。 						